

「中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の一層の充実について(通知)」に対する意見

公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会 代表理事(会長) 岡田真嘉

公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会は、文部科学省より、令和6年2月13日付けで通知された「中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の一層の充実について(通知)」に対し、本協会の意見として以下のように表明いたします。

「中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の一層の充実について(通知)」

https://www.mext.go.jp/content/20240209-mxt_jogai02-000006333_1.pdf

1. 中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制への支援要請と広報の充実

本協会は、中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の一層の充実について、様々な支援を関係省庁などに要請するとともに、技術教育の重要性を積極的に広報していきます。

2. 技術科教員研修への積極的な取り組み

本協会は、2013年から10年間で470回6,708名の技術・家庭科教員に対して研修会を実施しています。今後は、小学校におけるプログラミング教育、高等学校情報科の連携を踏まえて、授業にすぐに生かせる教員研修を実施し、技術科教員の指導力向上を支援していきます。

また、急速に発展・進歩する産業技術の理解を深めるため実習を通して楽しく学べる教材やコンテンツの研究開発を進め、学校現場に還元できるようにしていきます。